

ジェンダー主流化と 男女共同参画基本計画

ー実務の観点からー

大崎麻子

特定非営利活動法人Gender Action Platform理事
第70回国連女性の地位委員会（CSW70）日本代表

① mainstreaming a gender perspective（ジェンダー視点を統合すること）

- 政策・事業にジェンダー視点を組み込む行為
- 主としてデータ収集・統計整備・分析・評価の技術的側面
- 意思決定の前に男女への影響を検討する

焦点：技術的な分析手法

② gender mainstreaming（ジェンダー主流化）

- ジェンダー平等達成のための戦略
- 意思決定プロセスそのものに働きかける
- 資源配分・優先順位・制度設計に介入する

焦点：ガバナンスとアカウンタビリティの確保

▶ 実務への落とし込み（UNDPの経験・教訓）

実務から見たこと

当初の期待：It is now everyone's responsibility!

しかし——Everyone's job becomes no one's job.

まずは「組織のジェンダー主流化」の必要性

- ・ トップのコミットメントと関与
- ・ 明文化された基本方針・政策
- ・ 職員・組織の能力構築（キャパシティビルディング）
- ・ 知見の蓄積・分析・共有（ナレッジマネジメント）
- ・ アドボカシー

結論：
ジェンダー主流化/ジェンダー視点の主流化とは

ジェンダー平等達成のための戦略 技術的な分析手法＋ダイナミックな変革プロセス

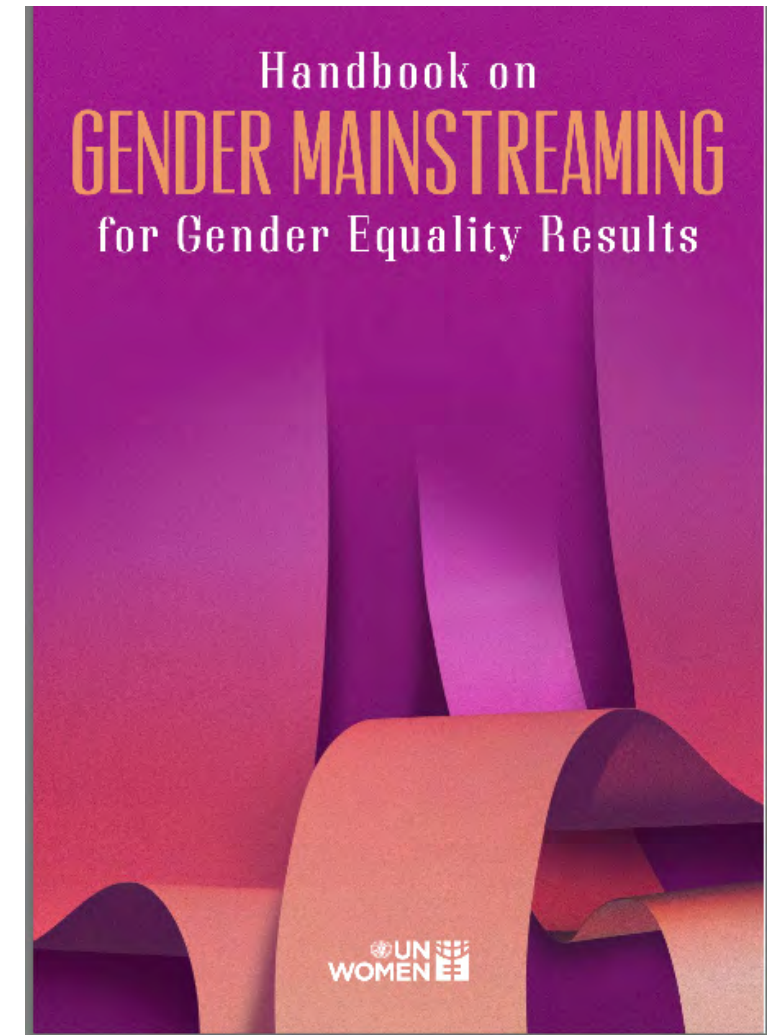
- ・ 意思決定プロセスの分析
- ・ 導入点の特定
- ・ エビデンス（データ＋分析）
- ・ 戦略的パートナーシップ

▶ UN Women ジェンダー主流化ハンドブック（2022）に集約された知見

4つのポイント

- ◆ **Gender mainstreaming is a strategy**
— ジェンダー平等達成のための戦略である
- ◆ **It must be institutionalized within organizations**
— 組織の制度・仕組みに組み込まなければならない
- ◆ **It requires integration into core systems**
— 政策・計画・予算・結果管理・評価に統合される必要がある
- ◆ **It addresses power and decision-making structures**
— 権力関係と意思決定構造を変革の対象とする

意思決定・資源配分・制度設計を動かすプロセスである
＝ガバナンスへの統合（governance integration）



2022年

▶ ジェンダー主流化の実践例

「分析」と「ガバナンス」の両輪アプローチ

	埼玉県	兵庫県豊岡市
Leadership	知事のリーダーシップ	市長のリーダーシップ
Institutionalization	部署横断型推進体制・手引き・標準化	部署横断型推進体制・ジェンダーギャップ解消戦略
Evidence	ジェンダー統計・男女別データ・EBPM	ジェンダー分析・地域データ・若年女性流出分析
Capacity Building	職員研修・共通言語・実践支援	官・民・市民の学習と対話
Partnership / Dialogue	庁内横断・部局間連携	市民・職員による戦略の策定・モニタリング
Transformation	行政改革型	地域課題解決型

▶ 第6次男女共同参画基本計画におけるジェンダー主流化

1. ジェンダー統計・男女別データの拡充

- ・ エビデンスに基づく政策形成（EBPM）の基盤整備

2. ジェンダー視点の政策形成

- ・ あらゆる政策分野への統合（Mainstreaming）

3. 男女共同参画会議・専門調査会

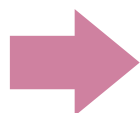
- ・ 政策形成・進捗確認・モニタリング

4. 男女共同参画機構（JGEPA）の創設

- ・ 調査研究・人材育成・情報提供
- ・ 全国男女共同参画センターのナショナルハブ

5. マルチステークホルダーによる推進

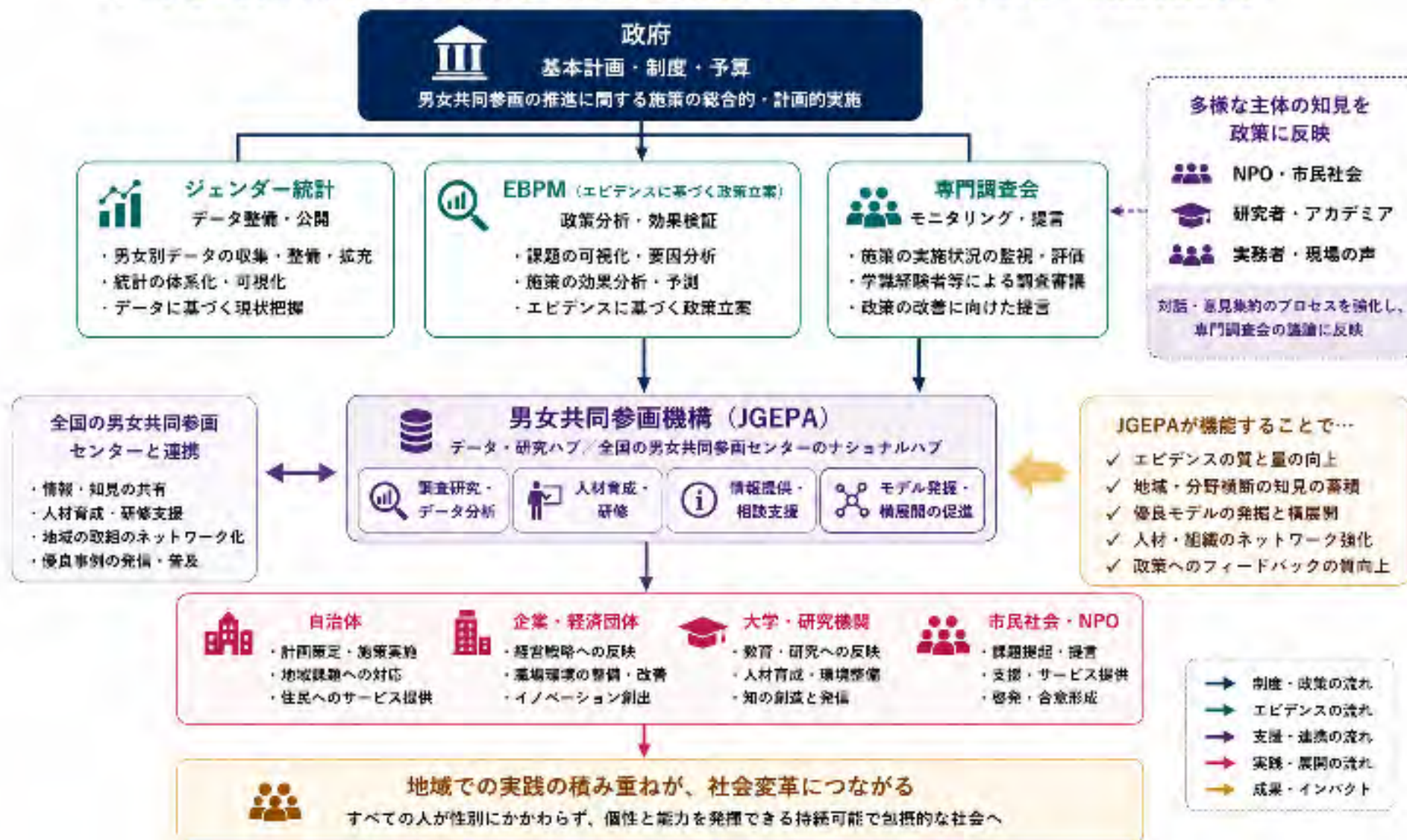
- ・ 国・地方・企業・研究者・市民社会の連携・協働
- ・ 男女共同参画センターを地域の連携拠点として活用
- ・ 実践・知見・政策の循環



分析（Evidence）とガバナンス（Governance）、そしてマルチステークホルダーによる協働を通じて、ジェンダー主流化を実装する。

第6次男女共同参画基本計画 ジェンダー主流化を支える仕組み

データとエビデンスに基づき、政策形成・実施・評価を支え、社会のあらゆる分野にジェンダーの視点を反映する



▶ 政府の基幹政策に組み込まれた女性活躍・男女共同参画

2026年7月21日、3つの最重要政策に横断的に位置付け

文言の統合

骨太の方針2026

人材力強化・誰一人取り残されない社会へ

- 男女間賃金差異の是正
- 戦略分野の女性活躍
- 育児・介護との両立
- 女性の健康／固定的性別役割の解消

日本成長戦略

成長投資を支える「人材」として位置付け

- 17戦略分野への女性参画
- 理工系女子人材の倍増
- 意思決定層・管理職への登用
- リスキリング／家事負担軽減

地域未来戦略

「若者・女性に選ばれる地方」を政策目標に

- 地域女性活躍・起業支援
- 男女共同参画センター等の支援
- 地域女性活躍推進交付金
- 地域働き方・職場改革

経済・成長・地方創生という、国家の「主流」の政策に統合され始めた。

Mainstreaming = 個別施策から、国家戦略・資源配分・制度設計へ

ご清聴ありがとうございました